



シンフォニア



「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.63

2024 5月 - 7月

2024 5/10 発行

TAKE FREE

Frankfurt Radio Symphony Orchestra



Gürzenich Orchestra Köln

The Symphony Hall

プラチナコンサート 世界の巨匠とともに 2024



[指揮] アラン・アルティノグル



[ピアノ] ゲルハルト・オピッツ



[指揮] フランソワ＝グザヴィエ・ロト



[ピアノ] ブルース・リウ



[ヴァイオリン] 諷訪内晶子

速報!

2024 12月31日(火) / 2025 1月1日(水・祝)

4:00PM 開演

3:00PM 開演

ジルベスター&ニューイヤーコンサートに
ウクライナ国立歌劇場
管弦楽団が出演決定!



【指揮】
ミコラ・ジャジュラ
Mykola Diadiura

【ゲスト】
【テノール】
錦織 健
Ken Nishikiori

ソプラノ
リリア・フレヴツォヴァ

メゾソプラノ
アンジェリーナ・シヴァチカ

詳細は、次号シンフォニア64号で発表!! お楽しみに!



シンフォニア

www.symphonihall.jp

contents

Vol.63

2024.5-2024.7

2024.5.10 発行

- 2 The Symphony Hall ブラチナコンサート 世界の巨匠とともに2024
- 4 大和証券グループ Presents フランクフルト放送交響楽団 大阪公演
ブルース・リウ インタビュー
- 6 ゲルハルト・オピッツ プレミアム ピアノ・リサイタル
ゲルハルト・オピッツ インタビュー
- 8 ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 大阪公演
- 10 ザ・キングズ・シンガーズ インタビュー
- 12 〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
ソフレ・シンフォニー Vol.24 原田慶太楼 インタビュー
- 14 上原彰子 ピアノ・リサイタル
- 15 清水和音 ピアノ・リサイタル インタビュー 前編
- 16 福岡洸太郎 日本デビュー20周年記念 ピアノ・リサイタル「Stories」
- 17 The Symphony Hall Big Band
～Music Director 菊池寿人～ Vol.23 ～ディスコ2～
- 18 熱狂コンチェルト2024
- 19 プロジェクションマッピング×パイプオルガン
超絶のタイタニック この夏もパイプオルガンがスゴ過ぎる!!
- 20 ブラスdeシネマ by The Symphony Super Brass
- 22 関西フィルハーモニー管弦楽団 第10回親子定期演奏会
第5弾 夏休み「自由研究は、これで決まり!」～音楽でたどる万国博覧会～
- 23 オールバッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート2024
- 24 ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～
『アメリカンポップス～オーケストラの響き～&森崎ウィン ベストソングセレクション』
- 25 シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ・リサイタル
- 26 Osaka Shion Wind Orchestra 第156回定期演奏会
- 27 小味洸彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.9
- 28 関西4オケ Pick Up コンサート
- 30 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 34 日本センチュリー交響楽団
- 36 盲導犬育成支援のための 第42回日本ライトハウス チャリティコンサート
大阪府医師会フィルハーモニー 第53回定期演奏会
- 37 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.63
- 38 ホールトビックス
- 39 Concert Calendar 2024.5～2024.7

5月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する5月19日(日)～6月2日(日)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00～18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB:<https://www.symphonihall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジン受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからの登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ

<https://www.symphonihall.jp/> からご登録ください。

▼ ハガキでの登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】〒531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間後会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。【@symphonihall.jp】をドメイン指定受信してください。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げる内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報、以下の目的のために使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事やご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「The Symphony Hall ブラチナコンサート 世界の巨匠とともに2024」

フランクフルト放送交響楽団©hr Ben Knabe / ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団©Holger Talinski
アラニ・アルティグロ©Hr/PhotoWerk / ブルース・リウ©Yanzhang / ゲルハルト・オピッツ©HT/PCM
フランソワ・グザヴィエ・ロト©Holger Talinski / 諏訪内晶子©Kiyotaka Sato

ザ・シンフォニーホール 子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

18歳以下限定
子供無料招待席のご案内

ザ・シンフォニーホールでは、子供たちが劇場・音楽堂等において本格的な実演芸術を鑑賞・体験等する機会を提供する取組を、文化庁支援のもとで行うことが決定いたしました。下記の対象公演で子供無料招待席を設け、18歳以下の皆様を公演にご招待いたします。また、保護者等同伴者のチケット代は一般価格の半額となります。お申込み方法をよくご確認ください、ふるってご応募ください。

対象公演

2024.6/26 (水) 7:00PM [対象] 小学生以上18歳以下

The Symphony Hall Big Band
～Music Director 菊池寿人～ Vol.23 ～ディスコ2～

2024.7/30 (火) 7:00PM [対象] 4歳以上18歳以下

ブラスdeシネマ by The Symphony Hall Super Brass
～cooperate with Osaka Shion Wind Orchestra～

2024.8/24 (土) 7:00PM [対象] 中学生以上18歳以下

オールバッハ名曲選
真夏のオルガンコンサート2024

2024.9/16 (月・祝) 2:00PM [対象] 中学生以上18歳以下

シャルル・リシャール＝アムラン
ピアノ・リサイタル

2024.10/17 (木) 7:00PM [対象] 中学生以上18歳以下

ザ・キングズ・シンガーズ

2024.10/19 (土) 2:00PM [対象] 中学生以上18歳以下

福岡洸太郎 日本デビュー20周年記念
ピアノ・リサイタル「Stories」

2024.11/2 (土) 2:00PM [対象] 中学生以上18歳以下

ゲルハルト・オピッツ
プレミアム ピアノ・リサイタル

対象者

公演当日、対象年齢以上18歳以下(公演によって異なりますので、ご注意ください)

お申込み方法

★公式ホームページ(<https://www.symphonihall.jp/>)の子供無料招待席専用ページよりお申し込みください。各公演によって定員および応募期間が異なりますのでご注意ください。

★ご予約は先着順で受け付けます。各公演の定員に達し次第、終了とさせていただきます。当ホールよりメールにてご来場可否のご連絡をさせていただきます。公演当日の詳細につきましても、メールに記載させていただきます。

★お申込みが定員に満たない場合は、二次募集を行います。

★ご応募は1公演につき、お一人様1回(4枚まで)でお願いいたします。

★必ず氏名・年齢が確認できる身分証明書(学生証・マイナンバーカード・保険証など)の画像の添付をお願いいたします。

★保護者等同伴者が19歳以上の場合は別途チケットをご購入いただく必要があります。

「保護者等」には、親の他、成人した兄弟姉妹や祖父母等の親族を含みます。チケット価格は一般価格(席のみ)の半額となります(定員に達し次第終了)。ご購入については当日現金にてお支払いのみとなりますので、ご注意ください。

★子供無料招待席と一般販売席はエリアが異なり、お座席は選択いただけません。同伴者の方と隣席購入ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

★本チケットは譲渡不可です。応募時に登録いただいたご本人以外の方のご入場はできません。

★学校・団体での申込も受付しておりますので、直接事務局(kodomo@symphonihall.jp)にお問い合わせください。応募多数の場合はご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承ください。

★公演終了後、子供無料招待席で公演を鑑賞された方を対象に文化庁のアンケートにご協力いただくことを予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。本アンケート実施のため、子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)事務局にメールアドレスのみを提供いたしますので、ご了承の上お申し込みください。

ご応募・
その他詳細は
こちらから▶▶▶文化庁 子供文化芸術活動支援事業
(劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業)

Vol.1

大和証券グループ Presents
フランクフルト放送交響楽団 大阪公演

2024. **10/16** (水) 7:00PM開演
[指揮] アラン・アルティノグル
[ピアノ] ブルース・リウ
[管弦楽] フランクフルト放送交響楽団
S 26,400円 A 22,200円 B 18,700円 (全席指定 税込)

PROGRAM
ワーグナー: 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より
第1幕への前奏曲
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」
ムソルグスキー: 組曲「展覧会の絵」
(ラヴェル編曲)

Vol.2

ゲルハルト・オピッツ プレミアム ピアノ・リサイタル

2024. **11/2** (土) 2:00PM開演
[ピアノ] ゲルハルト・オピッツ
S 8,000円 A 6,000円 (全席指定 税込)

PROGRAM
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第3番 ハ長調 op.2-3
ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調 op.57 「熱情」
リスト: 巡礼の年 第2年「イタリア」S161/R10b

Vol.3

ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団 大阪公演

2025. **2/11** (火・祝) 3:00PM開演
[指揮] フランソワ＝グザヴィエ・ロト
[ヴァイオリン] 諏訪内晶子
[管弦楽] ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団
S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円 (全席指定 税込)

PROGRAM
ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
マーラー: 交響曲 第5番 嬰ハ短調

限定
300席

3公演すべて同じお座席で
お楽しみいただける**プラチナセット券**を
ご用意しました。

プラチナセット券 65,000円 (全席指定 税込)

●プラチナセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ取り扱いします。
他のプレイガイドでの販売はございません。

プラチナセット券についての
ご案内はこちらから

Vol.1

[指揮] アラン・アルティノグル
[ピアノ] ブルース・リウ

Frankfurt Radio Symphony Orchestra

The Symphony Hall

・プラチナコンサート・

世界の巨匠とともに 2024

今年度のプラチナコンサートにはドイツを代表する2つのオーケストラとドイツの巨匠ピアニストが登場する。フランクフルト放送交響楽団は新しい首席指揮者アラン・アルティノグルと、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団は世界が注目する音楽監督フランソワ＝グザヴィエ・ロトとともに来日する。またソリストとして、ショパン・コンクール優勝者のブルース・リウとチャイコフスキー・コンクール優勝者の諏訪内晶子が招聘されるのも楽しみ。ゲルハルト・オピッツは、師であるヴィルヘルム・ケンプから受け継ぐ、ベートーヴェン、リストの系譜をたどるプログラム。円熟の巨匠の至芸が堪能できるに違いない。

山田治生

Vol.2

[ピアノ] ゲルハルト・オピッツ

Gerhard Oppitz

[指揮] フランソワ＝グザヴィエ・ロト
[ヴァイオリン] 諏訪内晶子

Vol.3

Gürzenich Orchestra Köln

3 Sinfonia

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター ▶電話／06-6453-2333 ▶WEB／<https://www.symphonyhall.jp> Sinfonia 2

フランクフルト放送交響楽団 大阪公演

ブルース・リウインタビュー

Interview

伝統と革新を追求する
フランクフルト放送交響楽団とシヨパンコンクールの
覇者が奏でる生命力にあふれたベートーヴェン『皇帝』



© 鈴木久美子

取材場所：ヤマハアーティストサービス東京

極上の音響のザ・シンフォニーホールでの公演は、素敵な思い出ばかり。

——2021年の第18回シヨパン国際ピアノ・コンクールで優勝して以来、世界中で演奏活動を繰り広げ、忙しい日々を過ごされています。

優勝直後は、自分に何が起きているのかよくわかりませんでした。それまでは、1年間に開催する大きなコンサートは10本の指で数えられるくらいだったのに、いきなり100回になったのですから（笑）。とにかく夢中で目の前のコンサートに取り組んできましたが、今は少し余裕を持って長期的な目標を見据え、音楽から得る喜びやエネルギーを大切にしながら走り続けています。

——ザ・シンフォニーホールでは、2023年3月にリサイタル、同年10月にパーヴォ・ヤルヴィ指揮、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団とのラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》そして今年の2月にアンドレイ・ボレイコ指揮、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とのシヨパン《ピアノ協奏曲第2番》を聴かせてくださいました。

素晴らしい音響のホールで、いずれの公演も聴衆の方たちが楽しんでくださっている雰囲気が伝わってきて、幸せな気持ちで演奏

——今後の抱負をお聞かせください。

いくつかおもしろいプロジェクトが生まれています。次のアルバムは、ロシア作品です。レコーディングはすでに終わっていて、これから編集作業に入ります。2025年春の来日ツアーの頃まではリリースできるでしょう。忙しい日々のなかで自分を見失いそうになりますが、ときどき冷静に自身の内面に向き合い、何をすべきかを考えなければならぬと思っています。レパートリーに関しては、自分なりのフレッシュな切り口でさまざまな作品に

アプローチしていきたいですね。

——最後に、ザ・シンフォニーホールのお客様へのメッセージをお願いします。

素敵な思い出が詰まったザ・シンフォニーホールで再び演奏できることを楽しみにしています。フランス人の気鋭の指揮者アラン・アルティノグル氏とフランス生まれの中国系の僕、そしてドイツの名門オーケストラ、絶妙なコラボレーションで、新鮮なエネルギーに満ちたベートーヴェン『皇帝』をお聴かせできるのではないかと、僕自身もワクワクしています。（取材：文 森岡 葉）



©PhotoWerk

【指揮】アラン・アルティノグル

することができました。残念ながら、3回も大阪で演奏したのに、大阪に滞在したのはそれぞれ1日ずつ、たったの3日間。美味しいものは食べたのですが、どこにも行っていないんです。次回はいろいろなどところに行ってみたいです。

ヤルヴィ氏とのラフマニノフのコンチエルトは、日本全国何ヶ所かを回るツアーの最後のコンサートだったので、満足のいく演奏ができました。ツアーの最初のコンサートは初めてのデート、最後は結婚式のような感じ（笑）。お互いに理解し合い、ごく自然に演奏することができ、「このままレコーディングできるんじゃない？」なんて語り合いました。

今年2月のボレイコ氏とのシヨパンの協奏曲 第2番は、ツアーの初日。第1番はコンクール以後、50回以上演奏しているんですが、第2番は初めて。短い時間のリハ・サルの後、すぐに本番を迎えるという状況がシヨパンコンクールのファイナルとそっくりで、「コンクールのときみたいだね」とボレイコ氏と話しました。第1番

ドイツの名門オーケストラと協演するベートーヴェン『皇帝』が楽しみです

——10月16日には、フランクフルト放送交響楽団との協演でベートーヴェン《ピアノ協奏曲 第5番『皇帝』》を聴かせてくださるのですね。

指揮者のアラン・アルティノグル氏はフランス人ですが、ドイツの名門オーケストラとの協演なので、この機会にぜひこの曲を演奏したいと思いました。世界中の人々に愛されているピアノ協奏曲です。勇壮で華麗、思わず微笑んでしまうような雰囲気もあり、明るくポジティブな作品で、僕も大好きです。大阪の皆様にも楽しんでいただけたらうれしいです。

——昨年リリースされたフランス作品のアルバム『ウェイブス（WAVE）』では、ラモー、ラヴェル、アルカンの作品が互いに響き合っていて、それぞれの作曲家の魅力が生きて描き出され、魅了されました。

僕はパリで生まれたので、フランス作品のアルバムを収録し

たいと思っていました。ラモーは以前から大好きで、フランスのエレガントなバロック音楽とアルカンの斬新な響きを組み合わせてみたかったのです。彼らの作品はあまり知られていませんが、多くの人々がフランス作品というものに対して持つイメージと違うところが魅力です。ラヴェル《鏡》の『道化師の朝の歌』は、10代の頃からコンクールでよく弾いていたのですが、組曲全5曲を録音のために演奏してみると、スペインのバスケット地方の音楽の要素がたくさん入っていて、新たな発見がたくさんありました。僕はさまざまな文化のなかで生まれ育ち、そのなかで自身のアイデンティティを模索してきたので、自分なりの音楽哲学を追求するアルバムになったと思います。

——レコーディングの合間に腹筋運動や柔軟体操をしている写真をインスタグラムで拝見しましたが、肩や背中が凝ることがあるのですか？

常に凝っています（笑）。以前はよくプールで泳いでいたのですが、身体をほぐすことができたが、今は演奏と移動に追われ、あまり泳ぐことができず、運動不足になりがちです。ですから、練習の合間などにストレッチや体操をしています。



©Ben Knabe

【管弦楽】フランクフルト放送交響楽団

大和証券グループ Presents

【指揮】アラン・アルティノグル 【ピアノ】ブルース・リウ
【管弦楽】フランクフルト放送交響楽団

ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲「展覧会の絵」

2024.10/16（水）7:00PM

S 26,400円 A 22,200円 B 18,700円（全席指定 税込）

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券65,000円の詳細はP3をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

単公演 シンフォニア会員先行：5/26（日） 一般発売：6/2（日）

プラチナセット券 シンフォニア会員先行：5/19（日） 一般発売：5/20（月）

ゲルハルト・オピッツ プレミアムピアノ・リサイタル

ドイツ正統派の伝統を継承する巨匠、
ゲルハルト・オピッツが彫琢する
ベートーヴェンとリストの魅力



Interview

Gerhard Oppitz

ゲルハルト・オピッツ インタビュー



ベートーヴェンは私の音楽世界の
中核をなす作曲家

——2022年11月、ザ・シンフォニーホール開館40周年記念シリーズ「世界の巨匠とともに」では、ご自身が選定されたスタインウェイでベートーヴェンとシューマンの珠玉の作品を聴かせてくださいました。

ザ・シンフォニーホールは、日本で最も好きなホールです。ほかにも素晴らしいホールはたくさんありますが、やはりザ・シンフォニーホールは格別で、演奏できることをいつも光栄に思っています。一昨年は、10年ぶりのリサイタルで、2017年12月に、東京のセレクトシヨールームで選んだスタインウェイを弾きました。狭いスタジオでの選定とホールでの演奏は、音響がまったく違いましたが、あのピアノを選んで本当によかったと思います。この10年くらいで弾いたスタインウェイの中でも1、2を争う楽器だと思っています。ベートーヴェンは、私の音楽世界の中核をなす作曲家のひとり。若い頃から今日に至るまで、常に新鮮なインスピレーションを得ています。2000年も前に書かれた音楽なのに、いつも刺激的で魅了されます。シューベルト、シューマン、リスト、ブラームスもベートーヴェンを崇拝し、彼の背中を追いかけていました。

——今年11月のザ・シンフォニー

ホールでのリサイタルでは、ベートーヴェン《ピアノ・ソナタ 第3番》《ピアノ・ソナタ 第23番(熱情)》、リスト《巡礼の年 第2年「イタリア」》を聴かせてくださるのですね。

ベートーヴェン《ピアノ・ソナタ 第3番》《ピアノ・ソナタ 第23番(熱情)》は、作曲家のみずみずしい意欲が漲った作品です。古典派からロマン派への扉を開けようとする大きなエネルギーを感じます。リスト《巡礼の年 第2年「イタリア」》は、リストがイタリア各地を旅して触れたイタリア・ルネッサンスの芸術家たちの作品から着想を得て作曲した曲集です。彼が敬愛したイタリアの詩人、ペトラルカの3つのソネットや、ダンテの『神曲』を題材にした《ダンテを読んで》など、詩情あふれるドラマティックな曲想に心惹かれるのと同時に、彼の文学や美術に対する造詣の深さに感嘆させられます。弾くたびに私の心をつかんで離さない作品です。

恩師ヴィルヘルム・ケンプは広い
視野を持った唯一無二の芸術家

——ベートーヴェン、リストの系譜に繋がるあなたの師事歴のなかで特筆すべき存在は、やはりヴィルヘルム・ケンプです。

そうですね。19歳か20歳くらいのときに、南イタリアのボジターノの彼の別荘で開催された講習会に招かれ、2週間にわたってベートー

ヴェンの32曲のソナタを集中的に学びました。若いピアニストたちが、それぞれ何曲ずつか弾き、彼がそれに対してアドヴァイスし、ご自分でも32曲すべてを私たちのために弾いてくださいました。すでに80歳に近い高齢でしたが、彼の演奏を間近で聴くという貴重な体験をすることができました。後でわかったことですが、それは彼にとってもちょっとしたリハ・サルで、その2週間後に、ウィーン楽友協会・ムジーク・フェラインで、ベートーヴェンのソナタ全曲演奏会が予定されていたのです。

ボジターノは、世界で最も美しい海辺の街です。前は地中海、後ろには険しい崖が聳え立ち、青い海に浮かぶ島々を眺めることができます。彼はそこに古代ギリシャの建築様式の別荘を建て、晩年の多くの時間を過ごし、若いピアニストたちを育てました。私はそこで10年間くらい彼の教えを受けたのです。彼は音楽だけでなく、あらゆることに造詣が深く、天文学、哲学、自然科学、さまざまな分野について熱心に語ってくれたことを思い出します。広い視野を持った唯一無二の芸術家でした。

——そこで奥様と出会ったのですね。

ケンプは毎年、講習会に8人か9人くらいの若いピアニストを招いていたのですが、そのうちのひ

とりが将来の妻となる洋子だったのです。出会ってから、1年後には結婚していました。このまま何事もなければ、もうすぐ結婚50周年、金婚式を迎えます(笑)。

——コロナ禍のロックダウン中は、毎日奥様の手料理を召し上がっていたそうですね。

レストランが休業していたので、家で食事をするのが多かったですね。私も料理が好きなのですが、あの頃は、料理担当は95%が妻、私はワイン担当でした(笑)。妻が作ってくれる和食は美味しいです。イタリア、南フランス、スペインなどの地中海風料理もよく作ってくれます。中華も時々。ミュンヘンは、築地ほどではありませんが、いろいろな魚が手に入ります。

——ヴィルヘルム・ケンプ同様、あなたも若いピアニストたちを育てることに情熱を傾けています。彼らへのアドヴァイス、メッセージをお聞かせください。

今の若い人のなかには、1日に6時間以上、ときには8時間もピアノに向かって練習する人が少なくありませんが、視野を広げ、ピアノだけでなく、オペラや歌曲、室内楽、管弦楽など幅広いジャンルの音楽に興味を持ってほしいと思います。私は幸い、技巧的な問題を克服するのにそれほど時間をかけず

に新しい作品をマスターすることができたので、1日の練習時間は平均2時間くらい。ピアノ以外のことを探究する時間がありました。若いピアニストの方たちにも、ぜひいろいろなことに興味を持ってほしいと思います。

——最後に、11月2日のザ・シンフォニーホールでのリサイタルを楽しみにしている聴衆の方たちへのメッセージをお願いします。

大好きなザ・シンフォニーホールの音響空間、最高のピアノで、ベートーヴェンとリストの深く美しい世界を描き出したいと思っています。

(取材文 森岡 葉)

[ピアノ]ゲルハルト・オピッツ

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第3番 ハ長調 op.2-3 / ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第23番 ヘ短調 op.57「熱情」 / フランツ・リスト：巡礼の年 第2年「イタリア」S161/R10b 1.婚礼 2.物思いに沈む人 3.サルヴァートル・ローザのカンツォネッタ 4.ペトラルカのソネット第47番 5.ペトラルカのソネット第104番 6.ペトラルカのソネット第123番 7.ダンテを読んで-ソナタ風幻想曲

2024.11/2(土) 2:00PM

S 8,000円 A 6,000円 (全席指定 税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券65,000円の詳細はP3をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

単公演 シンフォニア会員先行：5/26(日) 一般発売：6/2(日)

プラチナセット券 シンフォニア会員先行：5/19(日) 一般発売：5/20(月)



【管弦楽】ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団

©Holger Talinski

世界が注目する名指揮者ロトと伝統あるケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団とのマラー！

ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団はドイツのケルン市のオーケストラである。コンサート活動だけでなく、ケルン歌劇場のピットに入ってオペラも演奏する。起源は1827年に遡り、1857年からギュルツェニヒ・ホール（ギュルツェニヒ邸の跡地に建てられたホール）を本拠地としたため、ギュルツェニヒ管弦楽団の名称がある。1986年からはケルン・フィルハーモニー・ホールでコンサートを開いている。歴史のあるオーケストラゆえ、数多くの名曲の世界初演も行ってきた。ブラームスのヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲、R・シュトラウスの交響詩「ドン・キホーテ」と交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」などなど。マラーの交響曲第5番は、1904年、マラー自身の指揮でこのオーケストラによって世界初演された。歴代のシエフにはヘルマン・アーベントロート、グンター・ヴァント、ドミトリ・キタエンコ、マレク・ヤノフスキ、ジェームズ・コンロン、マルクス・シユテンツなどが名を連ね、2015年からはフランス出身のフランソワ・グザヴィエ・ロトが音楽監督を務めている。ヴァントとのドイツ音楽、キタエンコとのチャイコフスキー、ブローコフィエフ、ショスタコーヴィチ、それぞれの全交響曲、コンロンとのツェムリンスキー作品集、ブルッフの全交響曲、シユテンツとのマラーの全交響曲など、数多くの録音を残す。

ロトは、近年、ベルリン・フィルに定期的に客演するなどますます国際的な評価を高め、現代を代表する人気指揮者の一人となっている。ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団の音楽監督であるほか、古楽から20世紀音楽までをレパートリーとしてそれぞれの時代に合ったピリオド楽器を使用することで注目を集めている「レ・シエクル」の創設者でもある。今回演奏されるマラーの交響曲第5番は、ヴァイスコンテ監督の映画「ヴェニスに死す」で使われたアダージェットが特に知られる、マラーの人気作の一つ。前述のようにギュルツェニヒ管弦楽団にとってマラーの交響曲第5番は特別な作品であり、今回、古楽にも精通し、ピリオド・アプローチ作品の時代に即したアプローチを旨とする音楽監督ロトとともに、どんなに新鮮な演奏を披露するのか非常に楽しみである。

諏訪内晶子が得意のブルッフを弾く！

【指揮】フランソワ＝グザヴィエ・ロト 【ヴァイオリン】諏訪内晶子
【管弦楽】ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 op.26
マラー：交響曲 第5番 嬰ハ短調

2025.2/11(火・祝) 3:00PM

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(全席指定 税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券65,000円の詳細はP3をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

単公演 シンフォニア会員先行：7/25(木) 一般発売：7/28(日)

プラチナセット券 シンフォニア会員先行：5/19(日) 一般発売：5/20(月)

ニストとして活躍。2012年からは「国際音楽祭NIPPON」の芸術監督を務めている。ブルッフはケルン生まれであり、ギュルツェニヒ管弦楽団にとっては地元の作曲家といえる。ヴァイオリン協奏曲第1番はブルッフの代表作。美しい旋律とヴァイオリンの華やかな技巧が披露される名曲である。諏訪内晶子は、早くからブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番を得意とし、1996年のデビュー・アルバムでもこの作品を録音している。近年は銘器「アルネ・デル・ジェズ」チャールズ・リード」を弾き、音色にますます磨きのかかる諏訪内が魅力的な演奏を聴かせてくれるに違いない。

(文) 山田治生

ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団 音楽監修
【指揮】フランソワ＝グザヴィエ・ロト
François-Xavier Roth

©Julia Sellmann

ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団
Gürzenich
Orchestra Köln 大阪公演

日本を代表する国際的ヴァイオリニスト

【ヴァイオリン】諏訪内晶子
Akiko Suwanai

©TAKAKI_KUMADA



キングズではさまざまな声を駆使しています
——キングズの歌唱は、ノン・ビブラートを基調とした透明な響きが特徴ですね。**グレゴリー** たしかにキングズの演奏はクリーンな響きが際立ちますが、曲によっては力強く、深い声も使います。キングズではテキストの表現を非常に大切にしていますので、歌詞によって導かれる表現が大切ですね。曲ごとに様々な声を使います。6人の男声のアンサンブルは、

クリスマスツリーのようだという人もおられます。ベースとなる低音がしっかりと存在し、カウンターテナーはクリスマスツリーの上の天使のようなイメージです。

大阪公演は、デイズニー、英国音楽、そしてビートルズのプログラムです。
——2024年10月公演のプログラムについて、教えてくださいませんか。
まずデイズニーの名曲から日本でもよく知られている曲をとりあげますが『ライオン・キング』のナンバーは私も大好きで、カラオケでも歌ったことがあります！全体はレガシー(音楽の遺産をいうテーマで選曲し、ウィリアム・バード、そしてトマス・ウィールクスという2023年に没後40年だった英国ルネサンスの作曲家も歌います。とりわけウィールクスの『トゥーレの国、地誌の時代』はアイスランドの火山も登場する斬新な作品ですね。

——英国出身のグレゴリーさんにとって、ビートルズはやはり特別でしょうか？
グレゴリー そうですね。世界中の人たちがビートルズを聞いて育ったわけですから。キングズは1980年に「ビートルズ・コネクション」というアルバムも出していて、以前からレパートリーにしています。

——大阪のファンに、メッセージをお願いします。
グレゴリー 大阪でまた公演を行うことができ、本当に楽しみです。コンサートにいらした感想はフェイスブックやインスタグラムなどで発信していただけると嬉しいです。それでは大阪でお会いしましょう!!
(取材文 伊藤制子) (通訳 高島まき)

1968年創設以来、メンバーが入れ替わりながらも、その圧倒的な美声で世界を魅了してきたザ・キングズ・シンガーズ(以下キングズ)。2年ぶりとなる公演への抱負をテノールのジュリアン・グレゴリーに聞いた

——キングズに加入された経緯について教えてください。
グレゴリー 父はオルガニストで聖歌隊の指導もしていましたので、父のオルガンなど音楽に囲まれて育ちました。7歳で少年合唱団、16歳でイートン校の合唱団に入ったのですが、そこで初めてキングズの演奏を聴き、人間の声の素晴らしさに大変感銘を受けました。ケンブリッジ大学、そしてドイツで学び、帰国後は英国王立音楽院でオペラやオラトリオを学んでいたのですが、24歳の時、キングズのオーディションに誘われ、合格し、加入することになりました。

念のもと、人々の心をひとつにする活動にも力を入れています。

ます。公演では『イエスタデイ』などの名曲を取り上げます。実は2018年、カーネギーホール公演の帰途、空港ラウンジで、偶然ポール・マッカートニーに会ったんですよ。キングズのことも知っていたくれたので感激しました！

【コーラス】ザ・キングズ・シンガーズ
《ディズニーの名曲たち》「ライオンキング」より「愛を感じて」/「ピノキオ」より「星に願いを」/「リメンバー・ミー」(原題:Coco)より「リメンバー・ミー」/「101匹わんちゃん」より「クルエラ・ド・ヴィル」/「アラジン」より「アリスアリス」/「白雪姫」より「いつか王子さまが」/「メリー・ポピンズ」より「スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーシャス」/「ダンボ」より「もしも象が空を飛べたら」/「リロ&スティッチ」より「アロハ・エ・コモ・マイ」
《イギリス歌曲とビートルズの音楽》ウィリアム・バード: 諸々の異邦人よ、主をほめまつれ/この心地よく楽しい五月/トマス・ウィールクス: おお主よ、われらが王に長き命を/トゥーレの国、地誌の時代/ビートルズ(編曲: ボブ・チルクット): ペニーレイン/ビートルズ(編曲: ビル・アイヴス): イエスタデイ/ビートルズ(編曲: ダリル・ランズウィック): オブ・ラ・ディ、オブ・ラ・ダ ほか
2024.10/17(木) 7:00PM
S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 (全席指定 税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール
シンフォニア会員先行: 5/23(木) 一般発売: 6/2(日)



英国が生んだアカペラの「王様」 THE ザ・キングズ・シンガーズ SINGERS



あの至福の歌声が大阪に帰ってくる！
2年ぶりとなるザ・キングズ・シンガーズの待望の公演

©Frances Marshall

Symphony Soiree Vol.24

ソワレ・シンフォニー

大阪フィルハーモニー交響楽団 × ザ・シンフォニーホール 共催事業

[指揮]

原田慶太楼
Keitaro Harada

Interview

24回目の名曲コンサート「ソワレ・シンフォニー」。
名手が本場のジャジーな夜を届ける。

「アメリカンサウンドのDNAを掘り下げるプログラム」

—— 演目の意図を教えてください。
アメリカンサウンドといえば、ガーシュウィンとバーンスタインです。ガーシュウィンは1937年に若くして亡くなりますが、その約20年後にバーンスタインの「キャンディード」「ウエスト・サイド・ストーリー」が初演されます。2曲を並べてみると、一人の作曲家がこんなにバラエティー豊かな作品を同時期に書いたのかと驚かされます。ガーシュウィンの「ヘ調の協奏曲」は「ラブソディー・イン・ブルー」と違って全て自身でオーケストレーションしているのが魅力ですが、なかなか日本で演奏機会がありません。あえて協奏曲をメインに据え、時代をさかのぼる形で作品を並べ、サウンドのDNAを掘り下げてみようと思いました。

—— アメリカで音楽を学ばれました。

私が音楽をやろうと思ったとき

かけはミュージカル、まさに「ウエスト・サイド・ストーリー」でした。自身の音楽のスタートで、ターニングポイントでもあります。ミュージカル俳優を目指してかなわず、ピットミュージシャンになろうと思っていたら、ピットで棒を振る人になりましたが(笑)。歌があり、物語があり、照明があり——と舞台、オペラやミュージカルをやっているときが私の幸で、いちばん好きな音楽の形がこのプログラムに入っていると思います。

「計算できないスリリングな演奏、いい化学反応が生まれる楽しみ」

—— 小曽根真さんとこのプログラムの

何度か共演し、仲良くさせてもらっています。ガーシュウィンの協奏曲は自由さを求めていますから、ジャズマンが演奏しないとしくりません。自分もサクソスを吹いて、ビッグバンドで演奏してきましたし、得意分野であるからこそ、真さんと一緒にやると1回限り、いい化学反応がうまれると思います。真さんは目的地を見据えながらも、瞬間寄り道して「いいところ」にたどり着けるので「このファンタジーをつくる天才。指揮を

がら、「何を仕掛けてくるのかな」というリハーサルでは計算できない予定外のスリリングさがあり、絶対楽しいことになるなど思っています。

—— 3月の特選コンサートでも大阪フィルと共演しました。

大阪フィルとは何度か映画音楽のプログラムなどにチャレンジしてきましたが、今回のようなアメリカンプログラムは初めてです。こだわりの「THE 慶太楼」ともいべき演目を投げかけて、ジャズのスイングの仕方など、共にどれほど進化できるのか期待しています。

毎回温かく迎えていただき、3月の演奏会でもとてもいいサウンドを奏でることができました。共演を重ね、互いのフィードバック、スタイルが分かってくる、プラスになっていると思います。

「幅広いレンジ、ホールの音響効果を200%使える」

—— シンフォニーホールの印象は

いかがですか。
指揮者としても聴衆としても訪れていますが、「リスクの取れるホール」だと思っています。

サイズ感もよく、大きな音は温かく響く一方「こんな小さい音で鳴っているの?」という音でもしっかりと響いているからです。

「ピアノ」小曽根真



©Kazuyoshi Shimomura

幅広い音楽のレンジが可能で演奏しやすい、聴きやすいホールで今回、ホールの音響効果を200%使えるかなと思っています。関西には年数回は訪れているかと思いますが、街の雰囲気にも聴衆にも、情熱的なところを感じます。音が生き生きとくる気がします。

—— 今回に限らず、原田さんのアメリカンプログラムに期待したいですね。

ガーシュウィンがつくり、バーンスタインが次のレベルに引き上げたのがアメリカンサウンドかと思っています。ガーシュウィンという作曲家がどれだけのメロディストで、とても人を喜ばせる力があつたことを知ってもらえたらと思います。アメリカに住んでいる私だからこそ、そのサウンドをオーケストラから引き出せる可能性があるかとも思っています。

(取材文 毎日新聞大阪本社生活部記者 最上聡)

[指揮]原田慶太楼 [ピアノ]小曽根真

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

バーンスタイン:「キャンディード」序曲

バーンスタイン:「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション

ガーシュウィン:「バリのアメリカ人」

ガーシュウィン:「ガール・クレイジー」序曲

ガーシュウィン:「ヘ調の協奏曲」

2024.10/11(金) 7:00PM

A 5,500円 B 3,500円(税込)

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行:5/23(木) 一般発売:5/29(水)

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは5/28(火)より一般販売



[管弦楽] 大阪フィルハーモニー交響楽団

© 飯島隆

© 鈴木久美子

——近年もコンチエルトや室内楽ではザ・シンフォニーホールに数多く出演されてきましたが、ソロ・リサイタルはこの秋の公演が、大阪で実に10年ぶりの機会となりますね。

月日が経つのは早いものですね。でも、自分の演奏について語ることはなにもないですよ(笑)。

——デビューされてはどなく、ザ・シンフォニーホールが開館して、それからもう40年にもなる長い関係になります。ここで初めて弾いたときの感触を覚えていますか？

非常によく覚えて、それが当時は衝撃的でした。すごくクリアで、ぜんぶ聞こえる。

このホールができて、一般の人々も聴衆も、とても喜んだと思いますよ。いいホールができると、ほんとうに音楽を聴きたくなる気持ちになるものだから。

——大阪でコンサートをする、やはりなにか違いますか？

いまもむかしもお客さんが熱狂的です。聴衆の方々が演奏会に参加している感じは、東京よりずっと大きいでしょう。すごくいい音で拍手が聞こえる。おそろく手を叩いてくれる人の気持ちが一瞬懸命で。ほんとうに大阪はそういうところなのだと思います。

——三浦文彰さんとのベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲チャトルスの初回を3月に聴きましたが、細部の対話まで鮮明な驚

徐々に自然と変わってはい

稀代のピアニスト清水和音が 今秋、ソロ・リサイタルで真価を問う

彼といっしょだったら最高ですよ。なんとも心地よいというか。音もエネルギーも強いし。7月の次回は第3、6、7番と曲も華やかで難しいから、もっと面白くなると思う。

——ホールは良い音が滲みついて風格がでてるものですが、ご自身の演奏も音や感情がさらに濃くなってきたでしょう。本質は若い頃からあまり変わってはいないものですか？



くべき演奏でした。

自分でもわかったので(笑)。

——そのベートーヴェン最後のソナタop.111が今回プログラムされています。

これはもう最高の作品。他の演奏家の演奏と比べて、よくが弾くベートーヴェンはわかりやすいと思いますよ。『展覧会の絵』は大好きだし。レスピーギもピアノで弾くのはめずらしいけれど、きつとみんな知っている曲だから、楽しみにしてください。

多彩な個性にして、イタリア、ドイツ、ロシアという絶妙の組み合わせ。清水和音の知性と感性が光るプログラムについて、次号でさらに掘り下げていこう。

(取材・文 青澤隆明)

大阪で10年ぶりのリサイタルを、選りすぐりの愛奏曲で。

Interview
前編

清水和音 ピアノ・リサイタル *Piano Recital*

[ピアノ]清水和音

レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリアより 小舞曲〈オルランド伯爵〉、ヴィツラネッラ、ガリアルダ、イタリアーナ、シチリアーナ、パッサカリア
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第32番 八短調 Op.111
ムソルグスキー：展覧会の絵

2024. 11/10 (日) 2:00PM

全席指定 6,000円(税込)

[お問い合わせ] キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催] PROMAX / 朝日新聞社 / ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/23 (木) 一般発売：6/2 (日)

© 鈴木久美子



上原彩子

ピアノ・リサイタル

Ayako Uehara
Piano Recital

ベートーヴェン × シューマン

上原彩子の新境地が示される
ベートーヴェンとシューマン！

2002年のチャイコフスキー国際音楽コンクールで優勝して以来、国際的に活躍する上原彩子。ザ・シンフォニーホールにも、リサイタルや「熱狂コンチエルト」でしばしば登場し、大人気を博している。2022年のデビュー20周年×ザ・シンフォニーホール40周年を記念するプレミアム・リサイタルでは、シューマンの「幻想小曲集」、リストのピアノ・ソナタ、ムソルグスキーの「展覧会の絵」の名演を残した。

上原といえば、チャイコフスキーやラフマニノフなどロシア音楽のイメージが強いが、今年11月のリサイタルでは、ベートーヴェン、シューマンというドイツ音楽プログラムを披露する。とりわけ、ベートーヴェンのピアノ・ソナタは、上原にとって、これまでどちらかというと避けてきた作品であったが、2024年3月から8年にわたる全曲演奏会(全32曲)を始めるなど、今は、彼女が最も熱心に取り組むレパートリーとなっている。天才肌の上原が、今回、第7番と第17番「テンペスト」でどのような演奏を繰り広げるのか楽しみだ。シューマンは、ピアノ協奏曲のほか、デビュー20周年リサイタルでも「幻想小曲集」を弾くなど、上原が好んで取り上げてきた作曲家であるといえるだろう。今回は、若きシューマンの

[ピアノ]上原彩子

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 op.31-2 「テンペスト」
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第7番 二長調 op.10-3
シューマン：「謝肉祭」op.9
シューマン：「幻想曲」ハ長調 op.17 順不同

2024. 11/4 (月・休) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/23 (木) 一般発売：6/2 (日)

情熱が溢れる「謝肉祭」、3つの楽章からなる「幻想曲」という、どちらも約30分を要する大曲を演奏する。上原の近年の充実ぶりが示されるに違いない。

3人の子供たちを育てながら第一線での演奏活動に取り組む上原であるが、今は子育てで少し落ち着き、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲など新たなレパートリーの開拓に努め、東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授として教育活動にも取り組むなどますます活躍の場を広げている。上原彩子の新境地が示されるであろうリサイタルが大いに楽しみである。

(文 山田治生)



古澤 巖とTSHBBの8度目の共演は「ディスコ名曲の新装決定版!!」クラシック音楽の殿堂として名高いザ・シンフォニーホールが、クラシック以外の様々なジャンルの音楽にもみごとに適応していること。それを最良の形で味わたるのが、The Symphony Hall Big Band (TSHBB) の大人気シリーズだ。2016年に結成されたTSHBBは、トランペットの菊池寿人をはじめとした16名で構成。いずれもソロやバンドで活躍する名手で、幅広いレパートリーに柔軟に対応できる奏者が選りすぐられている。

早いもので、その23回目となる今回の公演は、ゲストにヴァイオリニストの古澤 巖を迎える。東京都交響楽団の元ソロ・コンサートマスターで、美しい音色と鮮やかな超絶技巧を備えた世界屈指の奏者。さらに音楽性も幅広く、クロスオーバーという言葉がこれほどふさわしいヴァイオリニストは他にいないのではないだろうか。それほどの大御所にもかかわらず、性格も音楽性も実に気さくだという古澤とTSHBBの相性は抜群で、共演は今回で8回目。今やTSHBBの17人目のメンバーのような存在にまでなっている。しかも、古澤とビッグ・バンドの共演が聴けるのは世界で唯一ザ・シンフォニーホールだけとすれば、この共演がいかに豪華で貴重かがよくわかるだろう。

前回のTSHBBと古澤は、7月7日(七夕)の開催だったことから、星にまつわる名曲を集めた「星に願いを」でファンを大いに魅了。それに続く今回は、過去に好評を博したディスコ・ミュージック名曲集の第2弾となる「ディスコ2」をお届けする。

[スペシャル ゲスト]古澤 巖 (ヴァイオリン)
[演奏]The Symphony Hall Big Band
スターウォーズ・メドレー／ビートルズ・メドレー／アース・ウィンド&ファイアー・メドレー／君の瞳に恋してる／ザッツ・ザ・ウェイ／コンガ／コパカバーナ／ヴォーラー ほか

2024.6/26 (水) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 18歳以下 3,300円 (税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 渡辺謙太郎)

ポップスが、TSHBB & 古澤の变幻自在の妙技でいかなる進化と深化を遂げるか楽しみだ。そしてもう1曲ぜひとも注目していただきたいのが、フォーシーズンズのリード・ヴォーカル、フランキー・ヴァリが1967年に発表した「君の瞳に恋してる」。多くのカバーを経て、82年にボーズ・タウン・ギャングがディスコ調にアレンジしたことで、80年代のディスコを席巻。日本でもCMやスポーツの応援曲などとして大ヒットした名曲中の名曲が、新たなアレンジの扉を開く一期一会の感動のひとときをお聴き逃しなく!!

©Koutarou Washizaki



人気ピアニスト・福岡洸太郎がお送りする愛、幻想、煌めく水の世界。きらりと光る個性をもつピアニストである。ソロ、オーケストラ共演でも活躍中の福岡洸太郎は、そんなピアニストのひとりといえるだろう。ベルリン、パリで学び、端正かつスケールの大きいピアニズムで聴衆を沸かせてきた。海外での演奏も多く、オーソドックスなレパートリーはもちろんのこと、20世紀、そして邦人作品も手掛ける。自身のYouTubeチャンネルも好評で、「レア・ピアノミュージック」という知られざる名曲の演奏・紹介にも尽力しているユニークな存在だ。

ザ・シンフォニーホールへの出演も多く、昨年はホールの名物企画「熱狂コンチェルト」に出演した。現田茂夫と日本センチュリー交響楽団とのタッグのもと、ラフマニフのピアノ協奏曲 第2番では豊かな響きに満ちたピアノを聞かせ、ファンをまさに「熱狂」させたのは記憶に新しい。

福岡による10月19日のリサイタルは、実はデビュー20周年の記念公演でもある。テーマは「ストーリーズ」。前半は福岡の音楽人生をたどるようなプログラムだという。子供の頃から大好きだったというショパンから《英雄ポロネーズ》、《葬送ソナタ》、《幻想ポロネーズ》という名作が選ばれた。音楽活動の節目に福岡自身が大切にしてきたレパートリーで、3曲を通じて波乱に満ちたシヨパン自身の人生を紡ぎたいという。

そして後半はオペラ、オーケストラ曲などのピアノの編曲という凝った選曲である。福岡はピアノをまるで大オーケストラのごとくに壮麗にならす手腕にもたけているが、今回はワグナー、ドビュッシー、そして今年生誕200年になるスメタナの名作のピアノ版をお送りする。濃密な愛と神秘の世界を描いたワグナーの楽劇《トリスタンとイゾルデ》より、福岡自身の編曲による《前奏曲》とリスト編曲の《愛と死》が選ばれた。ピアニスト同士の編曲の饗宴にも期待がかかる。そしてドビュッシーの《牧神の午後への前奏曲》のピアノ版(ボルヴィック編)、そして誰もが

[ピアノ]福岡洸太郎

《ストーリーズ》

ショパン:ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53「英雄」/ソナタ 第2番 変ロ短調 op.35「葬送」/ポロネーズ 第7番 変イ長調 op.61「幻想ポロネーズ」/ワグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」より前奏曲(福岡編曲)、イゾルデの愛の死(リスト編曲)/ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲(ボルヴィック編曲)/スメタナ:「わが祖国」より「モルダウ」(福岡編曲)

2024.10/19(土) 2:00PM

全席指定 S 4,500円 A 4,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 5/23(木) 一般発売: 6/2(日)

知るスメタナの代表作《わが祖国》から《モルダウ》をこちらも福岡自身の編曲でとりあげる。ホールに豪華なサウンドが響きわたるのが今から楽しみだ。どれも福岡がこれまでの音楽活動のテーマにしてきた「愛」「幻想」「煌めく水」を軸に選ばれた作品なので、彼のピアノを通じて、私たちも思い思いの物語を描けることだろう。

福岡のザ・シンフォニーホールへの出演は今後も続き、2025年3月にはチェロの宮田 大とのデュオ・コンサートが予定されている。アンサンブルの巧みさにも定評のある福岡だけに、こちらも乞うご期待!

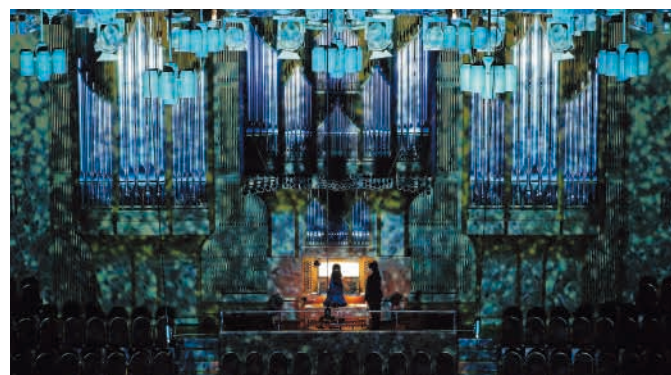
(文 伊藤制子)



音楽と映像が織りなす新たな美、感動刷新の音楽絵巻が今年も凄い！

ザ・シンフォニーホールの顔であるスイス・クーン社製の壮麗なパイプオルガンと、プロジェクトマッピング映像美によるコラボレーションでお贈りする至福のひとつ。『超絶の』を冠したおなじみの大人気シリーズが、今年の夏も盛大に開催される！

注目のテーマは「超絶のタイタニック」。「タイタニック」は1997年に公開された巨匠ジェームズ・キャメロンによる監督作品で、レオナルド・ディカプリオとケイト・ウィンスレットが豪華主演。20世紀最大の海難事故となった客船タイタニック号の悲劇を、ラブ・ストーリーの要素を交えて描いたスペクタクル超大作だ。当時の世界最高興行収入を記録し、音楽は、「エイリアン2」「ブレイブハート」「アポロ



13「アバター」などでも評価が高い映画音楽の大家ジェームズ・ホーナーが担当した。セリーヌ・ディオンが歌った主題歌「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」が大ヒットしたことは周知の通りで、その名曲中の名曲を今回どのようにアレンジし、映像と共に新たな世界を織り上げるか、実に期待が高まる。

他にも、「ターミネーター」「ミッション・インポッシブル」「ニュー・シネマ・パラダイス」「海の上のピアニスト」「ゴジラ」「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」など、あまりにも魅力的で多彩な予定演目が満載なので、息をつく暇もない約1時間を全身

[オルガン]大木 麻理

「ターミネーター」～「メイン・テーマ」／「ミッション・インポッシブル」～「メイン・テーマ」／「タイタニック」～「My Heart Will Go On」／「ニュー・シネマ・パラダイス」セレクション／「海の上のピアニスト」～「愛を奏でて」／「ゴジラ」～「メイン・テーマ」／「銀河鉄道999」～「A journey to the stars」／「宇宙戦艦ヤマト」～「宇宙戦艦ヤマト」

2024.7/26(金) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 3,000円(税込) ※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 発売中
[主催]ザ・シンフォニーホール

で堪能しよう。

そんな必聴公演をお届けするのは、大木 麻理。第3回ディトリック・ブクスステフェー国際オルガンコンクールで優勝後、国内各地で様々な企画に登場し、ザ・シンフォニーホールでもファンが多い注目の若手オルガニストだ。かつてインタビュで、「それぞれの曲が持つ作曲背景を意識しながら、それぞれのパイプオルガンが持つ音色を全部使って演奏したい」と語っていたことから、今回も極彩色の新たな音楽絵巻で聴き手を大いに魅了してくれることだろう！！

(文 渡辺謙太郎)



話題のシリーズに、現代シーンを牽引する3人の名手たちが集結。

例えば、ラフマニノフの3つのピアノ協奏曲を3人のピアニストを迎えて披露したかと思えば、3人のチェリストでハイドン、エルガー、ドヴォルザークのチェロ協奏曲を1日で演奏。また、ある時はチェロにヴァイオリン、ピアノそれぞれが主役のチャイコフスキー作品を揃えるなど、協奏曲の名曲をトップ・アーティストの演奏で味わい尽くしてきたザ・シンフォニーホールの名物企画「熱狂コンサート」。7月に開催される最新回では、3人の人気演奏家にロマン派を代表する3つのコンチェルトを演奏してもらおうという、これまでにない贅沢な趣向で既に大きな話題を集めている。

プログラムのおープナーは、ブラームスが円熟期に完成させた唯一のヴァイオリン協奏曲 二長調



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

で、ソリストを務めるのは今年4月よりNHK交響楽団の第一コンサートマスターとして活躍中の郷古 廉。10代の頃より折にふれて演奏してきたというこの曲を、今回のステージでどのように花ひらかせてくれるのか大いに期待したい。

続いて登場するのは、今や日本のチェロ界を担う逸材となった横坂 源。2月にドイツ音楽とピアノソラの異色組み合わせによる「悪魔のロマンズ」リサイタルを成功させたばかりの彼が挑むのは、サン・サーンスの気品溢れるチェロ協奏曲 第一番。スケールが大きくて歌心に溢れた演奏で、ロマンティックなフ

[指揮]現田 茂夫 [ヴァイオリン]郷古 廉 [チェロ]横坂 源
[ピアノ]横山 幸雄 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第一番 イ短調 op.33

リスト：ピアノ協奏曲 第一番 変ホ長調 s.124

2024.7/20(土) 2:00PM

全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 発売中
[主催]ザ・シンフォニーホール

ランス音楽の世界に誘ってくれること間違いない。

トリは日本が誇る現代の巨匠ピアニスト、横山 幸雄によるリストのピアノ協奏曲 第一番。ショパンと同様に、リスト弾きとしても高く評価されるヴィルトゥオーゾにとってはこれ以上ない理想の選曲で、熱狂のタイトルに相応しくゴージャスにコンサートを締め括ってくれるはずだ。

そんな3人と共演するのはオペラにも定評のある現田 茂夫が指揮する、色彩豊かな日本センチュリー交響楽団。絢爛豪華な音の饗宴が今から楽しみで仕方ない！

(文 東端哲也)

LIVE LIFE
動画配信はこちら

The Symphony Hall SUPER BRASS

ザ・シンフォニーホール スーパーブラス

Shidō × The Symphony Hall

ブラス de シネマ

名門ブラスの精鋭と関西を代表する名手が大集結！
迫力の大サウンドと映像美が織り成す、新たな感動体験！！

ド派手で格好よい！エンターテインメントの醍醐味がここに！！

ド派手に格好よく！音楽の楽しみ方は千差万別だが、華々しくまばゆい演奏が多く聴き手を魅了してやまないことは今も昔も変わらない。それが、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ（Shion）とザ・シンフォニーホールの共同企画で、2022年7月に始動したザ・シンフォニーホールスーパーブラス。Shionの名手に加え、関西の第一線で活躍する腕利きも選りすぐる大饗宴だ。しかも、通常のオーケストラよりも2〜3割増しになるというその迫力の大サウンドは、プロジェクションマッピングと共により広げられるた

め、まさに庄巻の一言に尽きる。

そんな当シリーズを指揮するのは、ザ・シンフォニーホール取締役ゼネラルマネージャー・音楽監督の喜多弘悦。中学高校のブラスバンドの打楽器奏者として出発し、アメリカの名門ジュリアード音楽院に留学後は打楽器だけでなく、指揮や音楽理論も学んだ本格派。帰国後に、学生と知り合いのブラス奏者が約半々で構成するビッグバンドを立ち上げたが、当時から一緒にプロ奏者が、このスーパーブラスを助けてくれているというから、喜多の思い入れの深さと、人の縁の大切さがよくわかる。

今回スーパーブラスが7月に

行う公演のテーマは、「ブラス de シネマ」ド派手に格好よく！

「昨年大好評を博した」「スタートウオーズ」「ロッキー」「ミッドウィンター・インボックスブル」「パイレーツ・オブ・カリビアン」など、もちろん、新作も加わる予定なので、原作や前回公演からさらにパワーアップした、ド派手で格好よいパフォーマン스에 全身で酔いたい。

また、ザ・シンフォニーホールの通常公演は、未就学児童の入場不可が多いが、この公演は4歳以上から入場可能。老若男女、来場者全員で大いに盛り上がる！！

(文 渡辺謙太郎)

歓喜！驚愕！感嘆！
かつてない感動を体感する、夏！！

[指揮] 喜多弘悦
Hiro Yoshi Kita

[指揮] 喜多弘悦

[演奏] The Symphony Hall Super Brass

「スーパーマン」／「E.T.」～アドベンチャー・オン・アース～／「ジュラシック・パーク」～サウンド・トラック・ハイライト～／交響組曲「ハリー・ポッターと賢者の石」／「ニュー・シネマ・パラダイス」／「スパイ大作戦」のテーマ ほか

2024. 7/30 (火) 7:00PM

S 6,600円 (S 高校生以下 3,300円) A 4,400円

発売中

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

オールバッハ名曲選

真夏の オルガンコンサート

ORGAN CONCERT 2024



オルガン
ウィリアム・フィールディング
(第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

©Hiroharu Takeda

期待の若手オルガニスト、フィールディングが紡ぐバッハのドラマ

英国出身で次代を担う俊英オルガニスト、ウィリアム・フィールディングが8月24日、ザ・シンフォニーホールに初登場！1999年生まれのフィールディングは、4歳からピアノを始め、チェロやトランペットなどに親しんでいくなかで、15歳からオルガンを学んだという今注目の新鋭である。2023年9月に、札幌コンサートホールKitaraの第24代専属オルガニストに就任したばかり。これまで数々の名手が就任しているオルガニスト垂涎のポストである。来日経験はなく、初めての日本にとまどうこともあったというが、現在は日本にすっかりなじみ、札幌のファンを沸かせているところだ。その彼がザ・シンフォニーホールのスイスクリーン社製の名器でオールバッハ・プログラムを聞かせてくれるというから、いやがうえにも期待が高まる。

プログラムは「バッハの多彩な魅力を最大限引き出す」というコンセプトのもと、周到に練られたものである。《G線上のアリア》、《主よ、人の望みの喜びよ》といった誰もが知る名曲のオルガン編曲もあれば、《小フーガ》ト短調 BWV578といったオリジナル曲もあり、さらに、トリオ・ソナタ第6番 BWV530より第1楽章、オルガン協奏曲イ短調 BWV593より第1楽章といった幅広いラインナップで、巨星バッハの奥深い世界を

[オルガン]ウィリアム・フィールディング
(第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

J.S. バッハ：オルガン協奏曲 イ短調 BWV593より 第1楽章、管弦楽組曲 第3番 BWV1068よりアリア（G線上のアリア）／A.イソワール編、いと高きところの神にのみ栄光あれ BWV663、おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け BWV622、トリオ《いと高きところの神にのみ栄光あれ》BWV664、フーガ《ジーグ風》ト長調 BWV577、目覚めよと呼ぶ声あり BWV645、フーガ《小フーガ》ト短調 BWV578、カンタータ 第147番より コラール「主よ、人の望みの喜びよ」／トリオ・ソナタ 第6番 BWV530より 第1楽章 ヴィヴァーチェ／カンタータ 第29番《神よ、われ汝に感謝す》より シンフォニア／A.イソワール編

2024.8/24 (土) 7:00PM ※休憩なし。60分間のコンサートです。
全席指定 3,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 発売中
[主催]ザ・シンフォニーホール

楽しませてくれるものになるだろう。ザ・シンフォニーホールのオルガンと札幌のKitaraのオルガンは異なる個性をもつが、フィールディングは楽器ごとに新たな発見やドラマがあると語り、今から弾くのを楽しみにしているとのこと。ザ・シンフォニーホールならではの楽器が紡ぎ出す壮大な物語を私たちもぜひ発見したい。涼しい札幌から、まだ酷暑の8月の大阪に来てもらうのはちょっと恐縮だが、山歩きが大好きというフィールディングには、ぜひとも大阪ならではの特別な夏も体験していただきたいものだ。俊英オルガニストによるバッハの神髄を味わえる、またとない機会をぜひお聞き逃しなく！

(文 伊藤制子)

Supported by MUFG

第5弾 夏休み 自由研究

関西フィル 第10回親子定期演奏会

はこれで決まり!!

自由研究

音楽でたどる万国博覧会

来場者全員に
自由研究にそのまま使える
"研究シート"を
プレゼント!

※画像は昨年の研究シートです。

研究ポイント

- ① 国の違いを音楽で感じてみよう
- ② 好きな楽器を見つけてみよう
- ③ 指揮者ってどんな仕事?



©SHIN YAMAGISHI

夏休みの悩み、自由研究のテーマと研究部分を今年も1日で解決！

夏休みを有意義に過ごしたい親子の皆様に、今年も朗報！読書感想文などと並んで毎年宿題の悩みの種になっている自由研究のテーマと、その観察部分を1日で解決してくれる「関西フィル親子定期演奏会」が、今年も充実した内容で開催される。

かつては、就学前の4歳児が家族と一緒にクラシック音楽の入門の扉を開く企画としてスタートし、2019年から現在の形へと発展した大人気シリーズだ。

その大人気シリーズで毎年演奏するのは、藤岡幸夫が指揮する関西フィルハーモニー管弦楽団。2007年から同フィルの首席指揮者に就任し、クラシックの普及を意識した企画を多彩にプロデュースする名匠だ。

25年に大阪関西万博が控えることもあり、今回のテーマに選ばれたのは、「音楽でたどる万国博覧会」。考察をより深められるように3つの研究ポイントが提示されているのも嬉しい。

1つ目は「国の違いを音楽で感じてみよう」。例えば、フランスのドビュッシー、オーストリアのJ.シュトラウスII世、アメリカのアンダーソンの名曲を聴き比べると、欧米の音楽文化の異なる魅力が際立つことだろう。

2つ目は「好きな楽器を見つけてみよう」。今回は、弦楽器の優美な歌と重なりがあまりにも美しいエルガー

[指揮]藤岡幸夫 [司会]空井仁美
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

シュトラウスII：ホルカ「観光列車」op.281／ドビュッシー（ビュッセル編）：「小組曲」より「バレエ」／ビゼー：歌劇「カルメン」より「間奏曲」／モンティ：チャルダッシュ／エルガー：「エニグマ変奏曲」より「ニムロッド」／ドヴォルザーク：交響曲 第8番 第4楽章／ニールセン：組曲「アラジン」より「祝祭行進曲」／アンダーソン：シンコペイテッド・クロック／ピアソラ：オペリヴィオン／朝鮮民謡：アリラン／外山雄三：管弦楽のためのラプソディ

2024.8/4 (日) 2:00PM 全席指定 4,000円(税込)

※4歳以上のお子様から入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団／ザ・シンフォニーホール

「ニムロッド」や、同じ弦楽器でもこちらは「変幻自在に疾走するモンティ「チャルダッシュ」」そして管楽器が華々しく躍動する外山雄三「管弦楽のためのラプソディ」など、多種多様な楽器の個性をじっくりと観察できる作品が多いので、ぜひ注目。

3つ目は「指揮者ってどんな仕事?」だが、これは藤岡の巧みな指揮姿勢とトークで毎年存分に明らかにしているのが今年もお楽しみに。

そして今回も、演奏中に学んだことをそのまま自由研究として提出できる「研究シート」を来場者全員にプレゼント。自由研究を楽しくあつという間に楽々と完成させよう!!

(文 渡辺謙太郎)



ベートーヴェンとショパンの名曲を今最も旬のピアニストが奏でる

聴いているだけで、幸福感に包みこまれるような音楽家がいる。古今東西の名演をふくめ、洪水のように音楽の配信があふれている時代に、生の演奏をホールに聴きに行かずにはいられない音楽家がいる。カナダ出身のピアニスト、シャルル・リシャール＝アムランはそんな音楽家のひとりである。

26歳だった2015年、ショパン国際ピアノコンクールで第2位という栄誉に輝き、注目を集めたアムランだが、早熟の才人としてはやくから脚光を浴びてきたわけではない。4歳頃から父の手ほどきで楽器に親しんできたが、本格的に学ぶようになったのは17歳なので、どちらかという遅咲きだ。だがじつくりと

音楽に向き合い、内に秘められた情熱で、聴衆に静かに語り掛けてくれるような演奏は、瞬間に多くのファンを獲得した。ザ・シンフォニーホールでもたびたびコンサートを開催しているが、回を重ねるごとにその魅力に目覚める聴衆が増え、チケット完売の人気演奏者へのぼりつめた。

高い人気を誇るようになって、アムラン自身はとても自然体で、作曲家と真摯に対峙する姿は、年々深化を遂げている。9月16日のザ・シンフォニーホールでのリサイタルで取り上げるのは、ベートーヴェンとショパンという王道プログラム。ピアニストのだれもが生涯をかけて取り組むレパートリーだけに、奏者の真価が問われる曲目でもあろう。

今回はベートーヴェンのソナタが2曲、作品27の1、2である。作品27の2はあの有名な「月光ソナタ」だ。この呼称はベートーヴェン自身によるものではないが、繊細な色彩感に彩られた名作である。アムランはピアノという楽器から、多彩な響きを引き出す手腕に長けており、ベートーヴェンならではの立体的な響きとリリシズムがいかに表現されるか、注目である。

[ピアノ]シャルル・リシャール＝アムラン

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第13番 変ホ長調 op.27-1 / ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」
ショパン：演奏会用アレグロ イ長調 op.46 / ワルツ 第14番 ホ短調 (遺作) / ワルツ 第3番 イ短調 op.34-2 / ワルツ 第4番 ヘ長調 op.34-3 「華麗なるワルツ」 / ワルツ 第12番 ヘ短調 op.70-2 / ワルツ 第6番 変ニ長調 op.64-1 「小犬のワルツ」 / ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2 / ワルツ 第8番 変イ長調 op.64-3 / ワルツ 第5番 変イ長調 op.42

2024.9/16 (月・祝) 2:00PM
全席指定 6,000円(税込) **発売中**

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

2015年、そして日本勢が好成績を収めた2021年の同コンクールでは、出場者によって実に幅広いスタイルのショパンが披露された記憶がある。アムランのショパンはそうした中で、柔らかな響きを基調とし、エレガントな美学とファンタジーの双方を備えたものだった。あれから10年近くたち、アムランのショパンはさらに深みを増している。今回のリサイタルは、演奏会用アレグロイ長調、そして「小犬のワルツ」を含めた多彩なワルツが選曲されている。ショパンのエスプリが込められた諸作品だけに、アムランの名演に期待したい。

(文 伊藤制子)



Vol.11はスペシャルな2部構成
大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールのタッグで上質な音楽をライト(気軽に楽しめる)時間を提供する人気企画。8月に開催されるシリーズ第11回目には、日本全国のオーケストラとポストン・ポップス・オーケストラのようなコンサートを展開中の藤野浩一(編曲指揮)が登場。映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズが長きにわたり音楽監督を務めたことでも有名な、名門ポストン交響楽団のメンバーで構成された由緒あるポップス管弦楽団さながらに「大阪響ポップスオーケストラ」を率いて、名曲たちを管弦楽の響きに乘せて届ける。



当日は2部構成。前半は「映画音楽と北新地の思い出」と題して『ミッション…インポッシブル』や『シェルブールの雨傘』などの名画を彩ったテーマ曲が中心だが、地元を知り尽くした藤野氏ならではの「大阪随一の大人の社交場をイメージした選曲もあり。幅広いジャンルで活躍する凄腕サキソフォン奏者「つづらのあつし」をゲストに迎えたナンバーにも注目したい。

後半は、お茶の間での人気に加えて邦画からハリウッド大作への出演、ミュージカルを中心とした舞台での活躍でも知られる実力派、森崎ウインをフィーチャーしたベストソングコレクション。音楽配信チャートを席巻した自身のオリジ

[編曲・指揮] 藤野浩一 [ゲスト] 森崎ウイン、つづらのあつし★
[管弦楽] 大阪響ポップスオーケストラ

煙が目にしみる／ハリウッド万歳／アルフィー／ミッション：インポッシブル／シェルブールの雨傘／藤野浩一編：ストリップの名曲メドレー／ハーレム・ノクターン★／藤野浩一編：「飲み過ぎ」メドレー／森崎ウイン：Dear, Move out, My Place, Your Place ほか

※曲目はやむを得ない事情により変更になる場合がございます。

2024.8/24 (土) 2:00PM
全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込) **発売中**

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

ナル・チューンをゴージャスなオーケストラ・サウンドをバックに歌い上げる。さらには、アメリカ映画の主題歌やロック、ソウルのヒット曲、ジャズのスタンダード・ナンバーなど、彼らしいセンスが光る綺羅星のようなカヴァー曲も盛り沢山。実は藤野&森崎のコンビは2020年にNHK-BBSの音楽番組「映画音楽はすばらしい」で出会い、これまでに収録やコンサートを重ねてきた間柄だけに、今回のステージもきつと期待を裏切らないはず。なお、7月発行の次号では森崎ウインのインタビューを掲載予定。お楽しみに！

(文 東端哲也)

こみちゃんの温故知シン

《vol.9》

—— 小味渕 彦之 (こみぶち ひろゆき / 音楽評論家) ——

井上道義さんが今年2024年の年末をもって指揮活動からの引退を表明されています。ザ・シンフォニーホールでも開館以来40年以上にわたり、数々の演奏会でタクトを握ってこられました。その最後のシリーズ公演となるのが昨年からは始まった「井上道義ザ・ファイナルカウントダウン」(朝日放送テレビ主催)です。道義さんが在阪のオーケストラの中で最も関係の深かった大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮して「やりたいことを全部やる!」全5回のシリーズ。

昨年末の道義さんが振る「最後の第九」となった回(vol.2)は超満員の聴衆が湧きに湧いて、まさにメモリアルな演奏となりましたが、3月末から4月初旬にかけては、道義さんの結石性腎盂腎炎のために昨年7月から延期となつた「vol.1」と「vol.3」が続けて開催されることとなり、ザ・シンフォニーホールの舞台ではまさに「ミッキー・ワールド」尽くしの演奏が繰り広げられました。ちなみにミッキーは道義さんの小学校時代からの愛称です。

3月28日の「vol.1」はチャイコフスキーの《交響曲第4番》がメインの曲目。オーケストラ曲として

はポピュラーな曲目であり、押し出しの強い音楽です。すてきなメロディが満載で、誰もが興奮させられるフィナーレまで、いわゆる「はえる」曲というのが一般的。ところがこの日の演奏は苦しくてたまらなかった。決してハッピーな音楽ではなく、もがいて出口がないように以前から感じていた私は、客席でその葛藤する響きに大いに共感して聴き入ったのでした。特に第1楽章は呼吸が苦しくなるほどで、終わって、道義さんが倒れるのではと心配したほど。「あの楽章は息継ぎをするところがないんだ。常に喘いでいるんだよ」とは終演後に楽屋で道義さんから聞いた言葉です。第4楽章については「賑やかに騒いでいるのを、少し離れて眺めているところに運命の主題が立ちほだかるんだ」と言っておられました。

また同じ日に取り上げられたのが、小曽根真さんが弾くショスタコーヴィチの《ピアノ協奏曲第2番》。通常は比較的小さな編成の弦楽器の人数で演奏されることも多い作品ですが、この日はあえて14型(第1ヴァイオリンが14人)の大きなサイズで取り上げられました。小曽根さんにとっては初めての作品であり、道義さんとの最後の

共演。ライブならではのスリリングさもあって、こちらも一期一会の快演になりました。

4月6日の「vol.3」はサン・サーンスの作品で新実徳英さんの《風神・雷神》をサントイッチにした構成。3曲ともにオルガンが入るという珍しいプログラムです。石丸由佳さんの弾くザ・シンフォニーホールのスイス・クーン社のオルガンがその偉容を聴かせました。《風神・雷神》では林英哲さんが打つ入魂の和太鼓の響きとの真のコラボレーションが、その場にいた人々をこれでもかというほどに圧倒。対照的にサン・サーンスではオルガンの役割にこの楽器が持つキリスト教の精神が明確に宿ります。道義さんの言葉を借りると「キリスト教的な神への憧憬と神からの恩寵を音符に残した」《交響曲第3番「オルガンつき」》と冒頭の《月桂樹》が、深く求心的な呼吸で表現されました。

今回のこのシリーズでは、今年生誕200年を迎えたブルックナーの《交響曲第7番》がモーツァルトの《交響曲第25番》と組み合わせられて演奏されます。まさにこう御期待。道義さんのラスト・イヤーはまだまだ続きます。



第156回定期演奏会



和太鼓 林英哲



指揮 ダグラス・ボストック

人の輪・伝承と新たな高み

昨年度の第6回京都定期演奏会(2023年8月27日開催)、第152定期演奏会(2024年1月28日開催)と、創立100周年を迎えたShionに素晴らしい実りを与えたダグラス・ボストックとの歩みは、101年目の今年も続きます。今回の第156回定期演奏会でお届けするプログラムは、邦人作品のラインナップです。いずれもボストックと日本を繋ぐ大切なレパートリーと作曲家たちが並び、聴く人々を魅了するでしょう。

前半は三人の作曲家による作品を演奏します。まずは、1971年、音楽之友社の創立50周年に際し作曲された「シンフォニック・バンドのためのパッサカリア」をお届けします。

パッサカリアはバッハにも代表されるバロック時代の様式で、主題の変奏によつて曲が構築されます。当時の吹奏楽作品で「様式」を持つ作品は少なく、特に邦人作品でこのような作品は珍しかったので、プロ・アマチュア問わず多くの団体が演奏してきました。戦後日本の吹奏楽黎明期を牽引した兼田敏の代表作でもあります。次にお届けする小山清茂の「吹奏楽のための木挽歌」は元々管弦楽曲ですが、1970年に吹奏楽編曲版が作られました。民謡をモチーフとしたこの曲は小山の代名詞とも言える楽曲で、長く小学校や中学校の教科書の鑑賞教材として取り上げられてきた作品です。作曲家存命時にこの作品を作曲家立ち会いの中、演奏を披露したこともある、ボストックにとつては思い入れのある作品と言えるでしょう。

そして伊藤康英の「台湾狂詩曲」はもともと1992年作曲された曲で、今回、改訂版として日本初演でお送りいたします。この曲はアジア・パシフィック吹奏楽会議で初演され、2つの台湾民謡(主要部には「都馬調」、中間部に「百家春」)が用いられており、吹奏楽による台湾との文化交流の意味合いも強く持っておりま

後半はボストックが敬愛する作曲家の一人、松下功の名曲をお届けします。和太鼓と吹奏楽のための「飛天三部作」を、氏の盟友であり和太鼓ソリストとしてのパイオニアである林英哲とともにお届けします。飛天三部作のうち、「飛天の祈」と「飛天の舞」はボストックが初演の指揮を務め、自身にとつても重要なレパートリーとして取り上げてきた作品です。松下功は2018年に残念ながら早逝されてしまいましたが、生前より親交が深く、作曲作品にも精通しているボストックと林英哲、そしてShionとが融合し、圧倒的な臨場感でザ・シンフォニーホールを揺るがすことでしょう。

後半はボストックが敬愛する作曲家の一人、松下功の名曲をお届けします。和太鼓と吹奏楽のための「飛天三部作」を、氏の盟友であり和太鼓ソリストとしてのパイオニアである林英哲とともにお届けします。飛天三部作のうち、「飛天の祈」と「飛天の舞」はボストックが初演の指揮を務め、自身にとつても重要なレパートリーとして取り上げてきた作品です。松下功は2018年に残念ながら早逝されてしまいましたが、生前より親交が深く、作曲作品にも精通しているボストックと林英哲、そしてShionとが融合し、圧倒的な臨場感でザ・シンフォニーホールを揺るがすことでしょう。

[指揮] **ダグラス・ボストック** [和太鼓] **林英哲**
 [吹奏楽] **Osaka Shion Wind Orchestra**

兼田敏: シンフォニック・バンドのためのパッサカリア / 小山清茂: 吹奏楽のための木挽歌 / 伊藤康英: 吹奏楽のための「台湾狂詩曲」(2024年改訂版) / 松下功: 飛天三部作「飛天の舞」、「飛天の祈」、「飛天遊」

※やむを得ぬ事情により、出演者、曲目等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

2024.9/22 (日) 2:00PM
 全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 2,500円 学生価格 3,000円(税込)
 ※C席は、Shionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみでの販売。
 ※学生価格は、Shionチケットセンターのみでの販売。

[お問い合わせ] Shionチケットセンター
 フリーコール: 0800-919-5508 (平日10:00~17:30)

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団 第282回定期演奏会



管弦楽 日本センチュリー交響楽団



指揮 ヤーノシュ・コヴァーチュ

[指揮]ヤーノシュ・コヴァーチュ [ピアノ]阪田知樹

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

リスト：交響詩「プロメテウス」 S.99
 バルトーク：ピアノ協奏曲 第3番 BB.127
 ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 二短調 op.47

2024.6/28 (金) 7:00PM

全席指定 S 8,000円 (サイン入りプログラム付き)
 A 6,500円 B 5,000円 C 3,500円 D [売切]

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

発売中



ピアノ 阪田知樹

コロナ禍の影響により2度出演延期となっていたハンガリーの巨匠・コヴァーチュと5年ぶりの共演！氏の母国からリストとバルトーク、そしてショスタコーヴィチの交響曲第5番をお届けいたします。バルトークのピアノ協奏曲には、2016年フランチ・リスト国際ピアノコンクール第1位をはじめ名だたるコンクールで輝かしい成績をおさめ、今最も注目を集めるピアニストの一人、阪田知樹さんが初登場します。輝かしいピアノとオーケストラの掛け合い、そしてマエストロが導く珠玉の音楽を存分に味わってください。

大阪フィルハーモニー交響楽団

シンフォニストの理想を求めて ～モーツァルトとブルックナー II



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団

[指揮]尾高忠明

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

モーツァルト：交響曲 第40番 ト短調 K.550
 ブルックナー：交響曲 第2番 ハ短調
 (キャラガン校訂版：1877/1892年 第2稿)

2024.8/28 (水) 7:00PM

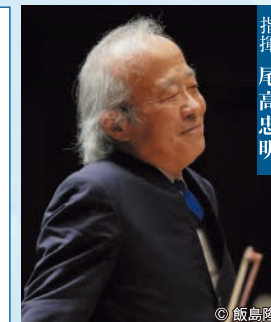
全席指定 A 6,000円 B 4,500円 C 3,500円

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

シンフォニア会員先行：5/23 (木) 一般発売：5/29 (水)

※大阪フィル・チケットセンターでは、5/28 (火) より一般販売。



指揮 尾高忠明

今年生誕200年を迎える作曲家、アントン・ブルックナー。オーストリアの小村に生まれ、教会のオルガンを弾きながら音楽と神への愛を胸に生涯を送りました。彼の初期作品に光を当てるシリーズ第2弾です。組み合わせたのは同郷の先人・モーツァルトの後期三大交響曲。今回はその中からモーツァルトとしてはめずらしい《短調》で書かれた交響曲として知られる40番を取り上げます。オーストリアの美しい自然の中で育った二人の天才の世界をお楽しみ下さい。

大阪交響楽団

第272回 定期演奏会 「のぶさん!円熟のタクト」



[指揮]延原武春 [ピアノ]ルウオ・ジャチン [ソプラノ]中村朋子

[アルト]渡邊由美子 [テノール]鹿岡晃紀、坂東達也

[バス]篠部信宏 [合唱]大阪響コーラス [合唱指揮]中村貴志

モーツァルト：行進曲 へ長調 K.248

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」

シューベルト：ミサ曲 第6番 変ホ長調 D.950

2024.6/12 (水) 7:00PM

全席指定 S 6,000円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 オルガン 2,000円

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団

発売中



指揮 延原武春



ピアノ ルウオ・ジャチン

関西が誇る日本古楽界の名匠、延原武春が2018年以来2度目となる客演を行い、円熟のタクトで音楽の神髄に迫ります！「ジュノム」の愛称をもつモーツァルトの「ピアノ協奏曲第9番」では、第8回仙台国際音楽コンクール(2022)の覇者として脚光を浴びる中国・湖南省出身の若きピアニスト、ルウオ・ジャチンが登場。その持ち味である鮮やかなピアノリズムを縦横無尽に煌めかせてくれることでしょう。そして、19世紀のミサ曲屈指の傑作と誉れ高きシューベルトの「ミサ曲 第6番」。たえなる旋律を歌う独唱陣と充実の大阪響コーラスを束ね、延原がシューベルト最晩年の救いへの希求を描き出します。

関西フィルハーモニー管弦楽団

関西フィルハーモニー管弦楽団第347回定期演奏会 『偏愛…シェーンベルクの愛が映し出す ブラームスの隠された狂気』



[指揮]沼尻竜典 [ヴァイオリン]堀米ゆず子

[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

ブラームス(シェーンベルク編)：ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 op.25(管弦楽版)

2024.6/22 (土) 2:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円

学生席(25歳以下) 1,000円 ※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中



指揮 沼尻竜典



ヴァイオリン 堀米ゆず子

充実のマエストロ、沼尻竜典が久しぶりの登壇。十二音技法を駆使した過激な作風で名を馳せた新ウィーン楽派の雄シェーンベルク(今年、生誕150年)が、自身の愛するブラームスの室内楽曲を大管弦楽曲へと編曲した超大作が今回のメイン。会場を支配する衝撃のサウンドに酔いしれて頂きましょう。また、ゲストにはベテラン堀米ゆず子(ヴァイオリン)が、こちらも久々の登場。彼女の若き日の、コンクール優勝ナンバーとなったシベリウスの情熱的コンチェルトを引上げ、感動の舞台をお届け致します。



ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。

vol.63 通訳者のプライド

2月、秋山和慶さん指揮、大阪市民管弦楽団の演奏会に朗読者としてご一緒しました。ムソルグスキーの『展覧会の絵』に語りが付いたものです。ムソルグスキーが、親友の画家ガルトマンの遺作展に触発されて一気に書いたピアノ組曲は、後年ラベルによって色彩豊かに管弦楽にアレンジされ、世界中に広まりました。

その日は、目、耳の不自由な方が招待され、点字プログラムや、磁気ループと呼ばれるシステムを入れた座席が設けられていました。

クラシック番組などを手掛ける構成作家の新井鷗子さんが、ガルトマンの絵にまつわるエピソードを文章にまとめ、それを曲間に挟み込むのが私の役割です。そして隣には手話通訳者が喋りに合わせて訳してくれます。

実は、その通訳の方に大変失礼なことを私は尋ねてしまったのです。

当日のリハーサルで、原稿を見ずに手話をされているので、「一言一句原稿通りに喋りますので、台本を譜面台に置いて原稿を見ながら手話をされたらどうですか?」すると、困惑した表情で「手話は、聴いたものを訳すんです。言葉に哀愁が込められているのか、怒気が含まれているのか、あきらめなのか、希望なのか。同じ手話でも変わってくるんです」そして、胸を張っておっしゃった言葉が「それが手話通訳の楽しさなんです」

ほんとうにそうですよね。ガルトマンが絵に込めた思い、それを音にしたムソルグスキーの感情。背景にある当時のロシアの世相。私自身は、そういった一切合切をひっくり回して語っているつもりですし、通訳者は私の解釈によって発せられた言葉を忠実に手話にしてくださったのです。

文字を読むのではない、思いを伝えるのだ。普段偉そうにこんなことを考えて仕事をしていたのですが、通訳の方々も同じ思いで仕事をされているのだということに気づかされた一日でした。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!

堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシック知識を余すところなく語る30分。



毎週日曜日
あざ7時~7時30分

The Symphony Time
ザ・シンフォニー・タイム

YES-fm
78.1 MHz

毎週土曜日 あさ10時~11時 ON AIR

リピート放送 毎週月曜日 20時~21時

ザ・シンフォニーホール音楽総監督・ゼネラルマネージャーの喜多弘悦がクラシック音楽をより多くの方に聴いていただけるよう、わかりやすく楽しい軽快なトークとともに、クラシックの名曲をご紹介します!

topics

アプリで聴けるようになりました!



The Symphony Timeがスマホアプリで視聴できるようになり、全国どこでも手軽に聴くことができます!

引き続きCS放送、USENでもリアルタイムに配信。

USEN

※ご契約内容によって聴取いただけないエリアがございます。



FM++ (エフエムプラス)とは、コミュニティFM向けのスマートフォンアプリです!



このQRコードを読み取り、iphoneの方はApp Storeで、Androidの方はGoogle playからダウンロードを!

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

今号は、夏の訪れ、心躍る季節に開催される社会福祉法人日本ライトハウス、大阪府医師会フィルハーモニーの公演をピックアップ! ザ・シンフォニーホールでのコンサートを毎年恒例とし、素晴らしい演奏でそれぞれの活動のメッセージを伝えてきた2団体。ともに大きな意義を持って開催される、スペシャルなステージをぜひお楽しみください。

MESSAGE

盲導犬育成支援のための 第42回日本ライトハウス チャリティコンサート

盲導犬育成支援のための 第42回日本ライトハウス チャリティコンサート

[指揮] 澤 和樹

[ヴァイオリン] 川島成道

[ピアノ] 菅田利佳

[管弦楽] 千里フィルハーモニア・大阪

グリーク:ピアノ協奏曲第1番より第1楽章
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク:交響曲第7番

2024.6/16 (日) 1:30PM

当日座席指定 3,500円 (税込)

[お問い合わせ]

日本ライトハウス募金事業部
06-6968-1030



ピアノゲストに菅田利佳さんをお迎えして
盲導犬育成支援のための当チャリティコンサートでは、お馴染みになりました指揮に澤和樹氏、世界的なヴァイオリニストである川島成道氏、管弦楽は千里フィルハーモニア・大阪の皆さん、そして今回はピアノゲストとして菅田利佳さんをお迎えして、華やかなプログラムでお楽しみ頂きます。
なお、菅田利佳さんは和歌山県出身。昨年3月東大教育学部卒業。卒業式では成績優秀な学生に送られる総長大賞を全盲として初めて受賞されました。今回のご出演には、同郷でもある澤氏より「菅田さんはピアノリストとして素晴らしい、スベシャルゲストとしてぜひ出て欲しい」と推されました。菅田さんは、外国語も堪能とのこと、将来国連難民高等弁務官になるのが夢だそうです。「この度は素敵な機会を与えてくださり、感謝しております」とのメッセージを頂きました。視覚障害者に盲導犬が一頭でも多く行き渡りますようチャリティにご協力をお願いします。

MESSAGE

大阪府医師会フィルハーモニー 第53回定期演奏会

大阪府医師会フィルハーモニー 第53回定期演奏会

[指揮] 高谷光信

[管弦楽] 大阪府医師会フィルハーモニー

ロッシーニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲

ハチャトゥリアン:組曲「仮面舞踏会」

ドヴォルザーク:交響曲 第7番 二短調 op.70

2024.6/30 (日) 2:00PM

全席自由席 1,500円 (税込)

[お問い合わせ]

大阪府医師会フィルハーモニー事務局
06-6213-2841



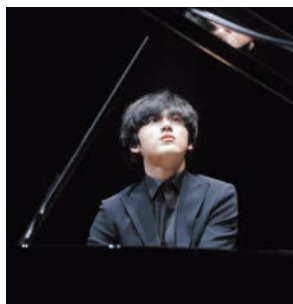
音楽とボランティア活動を54年続けるSDGsの先駆者!
大阪府医師会フィルハーモニーは、1970年に大阪府医師会員のクラシック音楽を愛するメンバーにより創立されました。現在では、医療関係者と共に一般のメンバーも参加しているオーケストラです。
活動は、病院での「ふれあいコンサート」と年1回のザ・シンフォニーホールでの「定期演奏会」の二本柱としていきます。定期演奏会には、視覚障害のある方々や普段クラシック音楽に接する機会の少ない小学生をご招待し、また、大阪市鶴見区にあります「TSURUMI こどもホスピス」の広報・募金活動も行っております。
今回のコンサートは、平成22年以来14年ぶりにハチャトゥリアンの仮面舞踏会を演奏いたします。個性豊かな仲間と奏でるサウンドにどうぞご期待ください。



CONCERT PHOTO REPORT

2024年2月11日(日)

イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル [ピアノ]イム・ユンチャン



2022年のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでの優勝以来、ニューヨーク・フィルハーモニックのソリストに抜擢されるなど、世界の檯舞台で活躍を続けるイム・ユンチャン。待望のザ・シンフォニーホールでのリサイタルが開催されました。ピアニストにとっての真価が問われるショパンのエチュード、遺作も含めた全27曲がプログラムされた本公演、その衝撃的なまでの自由奔放かつ圧倒的なテクニックと音楽性をあやつり、それぞれの曲を見事に表現したイム・ユンチャンに客席は魅了され、万雷の拍手がホールを包みました。



2024年3月31日(日)

運命×カルミナ・ブラーナ

[指揮]飯森範親 [ソプラノ]幸田浩子 [テノール]中井亮一

[バリトン]須藤慎吾 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

[合唱]日本センチュリー合唱団 [児童合唱]大阪すみよし少年少女合唱団



ドイツ音楽の巨匠2人の代表作を一気に聴けるザ・シンフォニーホールならではのプログラム、「運命」×「カルミナ・ブラーナ」。大規模編成ということで関西では久しぶりの実演となった「カルミナ・ブラーナ」では、マエストロ飯森範親の強力な音楽作りのもとに熱演が繰り上げられました。これまで幾度も名演を繰り上げてきた飯森×日本センチュリー交響楽団のコンビ、そして合唱、ソリストが一体となり、生命力を爆発させるような音楽の魅力を余すことなく描き出しました。圧巻のステージを終え、ホール中が感動に包まれるなか、豊かな表情を見せる出演者たち。ソプラノ幸田浩子が素晴らしい合唱を務めあげた大阪すみよし少年少女合唱団へ、優しい笑顔で拍手を贈る姿も印象的でした。

クラシック音楽の魅力、
ホールの舞台裏の様子などザ・シンフォニーホールの
情報をいち早くチェック!

Facebook



Instagram



The Symphony Cafe からお知らせ

メニュー価格改定のご案内

いつもThe Symphony Cafeをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

The Symphony Cafeでは、この度、原価高騰によりやむをえず価格改定をさせていただくこととなりました。お客様には心苦しいお知らせとなり大変恐縮でございますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

公演前のひと時を、少しでもくつろいで優雅にお過ごしいただけるよう、今後ともサービスの提供に努めて参ります。

相変わらぬご愛顧をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

新メニュー登場!! 世界が注目する大人気日本酒「獺祭」

今春、新発売メニューとして、「獺祭 純米大吟醸45 にごりスパークリング」と獺祭の発酵技術から生まれた「獺祭 新生甘酒」が登場します!

「獺祭 純米大吟醸45 にごりスパークリング」は、純米大吟醸だからこそその華やかな香り、山田錦だからこそその甘み、きめ細やかな泡立ちの爽やかさが堪能できます。

50%まで磨いた山田錦(等外米)を贅沢に使って造られた「獺祭 新生甘酒」。甘酒は“飲む点滴”とも言われ、血行・代謝の促進、美肌効果も期待できるので、ぜひお試しください!

※The Symphony Cafeではグラスでの提供となります。
「獺祭 純米大吟醸45 にごりスパークリング」グラス ¥1,000(税込)
「獺祭 新生甘酒」グラス ¥500(税込)

